

氏名	荒木 和美	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	英語教育				
学位	修士(教育学)				
学歴	津田塾大学学芸学部英文科(英文学士) カンザス州立大学(米国) 教育学部 大学院前期修了				
経歴	東京YMCA英語専門学校専任講師、一橋スクールオブビジネス非常勤講師、麗澤大学(留学生別科、学部)非常勤講師、日本橋女学館短期大学非常勤講師、津田塾大学非常勤講師(現在に至る)1999年度より埼玉県立大学保健医療福祉学部専任教員。				
所属学会(役職)	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	該当なし					
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	学部前期必修科目英語Ⅰ社会福祉子ども学科・健康開発学科行動科学専攻⑩⑪⑫⑬⑭(内授業担当⑩⑬)	○	5	対面授業中止に伴い前期全ての授業をZoomを用いたオンライン形式で実施。Social Issues in a Contemporary World(成美堂出版) Chapter 1:Food and Global Culture Chapter 2:Global Wealth and Poverty Chapter3: Ageing SocietyおよびChapter 4 & 5を学習。学期末試験はWebClass上で実施した。シラバスに記載された進度の通り授業を実施。課題の一つであるSDGs in Actionの17のゴールから自分たちが最も興味のあるゴールの一つを選択し、国連関連の資料をもとに学期中ペア学習を進めた。学期末には5分間パワーポイントスライドを用いた英語によるプレゼンテーションを行った。Web上に設定された5項目から成る評価アンケートに他の学生のプレゼンテーション評価を記入する方式を採用。学生の課題への取り組み意欲は高く内容も高度なものが多かったことが特徴。副教材であるTOEIC学習用教材(The Next Stage to the TOEIC Test金星堂出版)に関しては進捗表に記載されたペースでの自己学習を進めた。WebClass上に毎週の学習進度に沿った解答解説をアップロード(期間限定)し自己採点方式を取り入れることにより学生の主体的な学習態度を養成した。		

2	学部後期必修科目英語Ⅱ 社会福祉子ども学科・健康開発学科行動科学専⑩⑪⑫⑬⑭ (内授業担当⑩⑭)	○	5	対面授業中止に伴い後期全ての授業をZoomを用いたオンライン形式で実施。Social Issues in a Contemporary World (成美堂出版) Chapter6:Smoking Chapter 7: Gender Chapter 8:Populationを学習。学期末試験はWebClass上で実施した。11月には1学年全体(約350名)対象にTOEIC L&Rオンライン試験を実施。試験実施総括責任者を担う。前期同様副教材であるTOEIC学習用教材(The Next Stage to the TOEIC Test金星堂出版)に関しては進捗表に記載されたペースでの自己学習を進めた。WebClass上に毎週の学習進度に沿った解答解説をアップロード(期間限定)し自己採点方式を取り入れることにより学生の主体的な学習態度を養成した。
3	学部前期必修科目英語Ⅲ 社会福祉子ども学科・健康開発学科行動科学専⑩⑪⑫⑬⑭ (内授業担当⑩⑭)	○	5	対面授業中止に伴い前期全ての授業をZoomを用いたオンライン形式で実施。Read Smart Unit 1: Birth Order and Personality Unit 2: College Dropout Unit 3: Just a Game Unit 4:The Brick Factory Unit 5: Man's Best Friendを学習。学期末試験はWebClass上で実施した。シラバスに記載された進度の通り授業を実施。English Central (成美堂出版)を活用したリスニングと語彙および発音の強化に努めた。授業ではZoom内ブレイクアウトルーム機能を活用し、ペアワークおよびグループワークを毎時間実施することで学生同士の会話練習や問題解決のためのコミュニケーションを促進する工夫を取り入れた。対面による授業以上の効力を得ることが出来た。
4	学部後期必修科目英語Ⅳ 社会福祉子ども学科・健康開発学科行動科学専⑩⑪⑫⑬⑭ (内授業担当⑩⑬)	○	5	対面授業中止に伴い後期全ての授業をZoomを用いたオンライン形式で実施。Read Smart Unit 6:Small but Powerful Unit 7: More than Honey Unit8:Teenagers and Their Parents Unit9: Teaching Kindnessを学習。学期末試験はWebClass上で実施した。シラバスに記載された進度の通り授業を実施。授業ではZoom内ブレイクアウトルーム機能を活用し、ペアワークおよびグループワークを毎時間実施することで学生同士の会話練習や問題解決のためのコミュニケーションを促進する工夫を取り入れた。対面による授業以上の効力を得ることが出来た。English Central (成美堂出版)を活用したリスニングと語彙および発音の強化に努めた。授業ではZoom内ブレイクアウトルーム機能を活用し、ペアワークおよびグループワークを毎時間実施することで学生同士の会話練習や問題解決のためのコミュニケーションを促進する工夫を取り入れた。対面による授業以上の効力を得ることが出来た。
5	学部後期選択科目英語演習C	○	1	対面授業中止に伴い後期全ての授業をZoomを用いたオンライン形式で実施。English Grammar Course (Oxford出版) Basic Levelのテキスト(紙媒体およびオンライン教材)を用いてSection 1~Section 10まで学習を進めた。授業ではZoom画面共有を使用することで教員のテキストと学生のテキストを共有しながら文法項目の説明や問題の解答解説を行うことが出来た。期末試験はWebClass上に学習範囲関連の英文法問題100問を作成した。結果正解率は非常に高く20名(学科混合)の履修者学生平均点は90点以上をマークすることが出来た。

(3) 実習

実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1 ヒューマンケア体験学習		9.28~10.2	今年度は施設での実習が実施出来なかったためすべてオンライン形式での講義および実習となった。全体でのビデオ視聴後のグループ討論では活発な意見交換が行われた。実習後のレポートの評価。

(4) 論文指導

対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1 卒業論文	2020年5月~7月	主指導	1名	副指導 4
2 修士論文		主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員) 名
3 博士論文		主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員) 名

(5) その他

名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1 -		

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	津田塾大学非常勤講師		委嘱により週2コマ学部必修科目通年授業(Pronunciation I、Composition I)を担当。
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市国際交流協会	理事および青少年交流委員会委員長	2019年度～
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会総務委員	2020.4-2021.3
2	国際交流活動	国際交流委員(学科選出)	2020.4-2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学親睦会会計委員	2020.4-2021.3
4	学科等における委員会等	共通教育科定例会議への出席	2020.4-2021.3
5	学科等における委員会等	教養科目担当者会定例会議への出席	2020.4-2021.3
6	学科等における委員会等	英語専任教員会議への出席	2020.4-2021.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			